

授業科目名	保健統計	担当教員	島本武嗣
必修	開講年次：2年後期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

### 【授業概要】

疫学と統計学の概念と方法を取り入れ、わが国の衛生関係統計資料の概要及び地域に用いられた主要な健康指標や、これらに関する国際的尺度や基本的統計を理解し、地域及び国際的健康課題の把握に役立つ基礎的知識や方法論について理解する。

### 【授業目的・目標】

1. 疫学および統計学の概念と方法を理解する。
2. 健康の指標の定義が説明できる。
3. 健康指標の国際的共通な尺度や官庁統計の読み方と意味を理解できる。
4. 人口構造、人口動態統計、傷病の分類、疾病構造、健康状態と受療状況、保健医療福祉に関する基本的統計が理解できる。
5. 基礎的統計学や情報科学の基礎を疫学の理解に連携する。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- [01] 保健統計学の概要と看護における統計学の役割
- [02] データの種類（量的データ、順序データ、質的データ）及び基本統計量・代表値（平均値、標準偏差、メジアン、モード）
- [03] 記述統計の考え方
- [04] 記述統計の活用とその限界
- [05] 推測統計の考え方
- [06] 推測統計の活用
- [07] 統計学的有意性と仮説検定
- [08] 人口静態統計、人口動態統計

### 【教科書】

講義資料は配布

### 【参考書】

保健統計・疫学、福富和夫・橋本修二、改訂5版、2016、南山堂

### 【評価方法・評価基準】

筆記試験（90%）、授業への出席状況、態度（10%）

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事後学習：講義資料および講義内容をもとに、復習を中心に毎回の授業内容の理解に務めること。

### 【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

期末試験の模範解答を掲示等によりフィードバックする。

### 【備考】

関連が深い疫学と併せて学習し、習得した知識を適用・応用して、研究や臨床現場で問題解決できる能力を身につけることが大切である。